

## ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、法医学講座では、本学で保管している法医解剖で得られた患者情報と解剖検査記録を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方のご遺族の中で、法医解剖で得られた患者情報と解剖検査記録を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でもご遺族の方に不利益が生じることはありません。

**[研究課題名]** 法医解剖例における生化学検査の有用性の検討

**[研究対象者]**

平成20年2月1日から令和9年3月31日の間に法医解剖を受けた方

**[利用する患者情報と解剖検査記録情報]**

性別、年齢、身長、体重、生前の健康状態（既往歴・現病歴）、発症・受傷状況、発症・受傷後の臨床経過、死亡時画像診断 X 線 CT 結果、解剖結果（剖検所見、組織検査所見、中毒検査結果、死因、死因の種類）、生化学検査結果（CRP、HbA1c、血糖、アセトン、アセト酢酸、 $\beta$  ヒドロキシ酪酸、乳酸、電解質、クレアチニンキナーゼ、ミオグロビン、トリプターゼ、一酸化炭素ヘモグロビン、トロポニン T、N 末端プロ B 型ナトリウム利尿ペプチド[NT-proBNP]

**[利用の目的]** （遺伝子解析研究：無）

生化学検査の結果と疾患、外傷、死後経過時間の関係を解析し、法医解剖での生化学検査の有用性を明らかにすることを目的としています。

**[利用期間]** 倫理審査委員会承認後より令和10年3月31日までの間（予定）

---

**[この研究での患者情報と解剖検査記録の取扱い]**

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用する情報からは、氏名、生年月日等の情報を削り、どなたのものなのかわからないように安全管理措置（匿名化）をしたうえで取り扱っています。

**[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]**

研究責任者：東京女子医科大学 医学部法医学講座 教授 木林和彦

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 医学部法医学講座 教授 木林和彦

電話：03-5268-7300（直通）（応対可能時間：平日9時～16時）

Eメール：legalmed.dm@twmu.ac.jp